- ① 前提事項:境町の災害環境と最大リスク
- ② 実行委員会組織
- ③ 令和7年度 境町総合防災訓練の概要と方向性
- ④ 広域避難訓練における避難先の指定

④ 避難訓練における避難先の指定について

1 避難先指定の前提事項

2 広域避難時の避難先の指定

1 避難先指定の前提事項

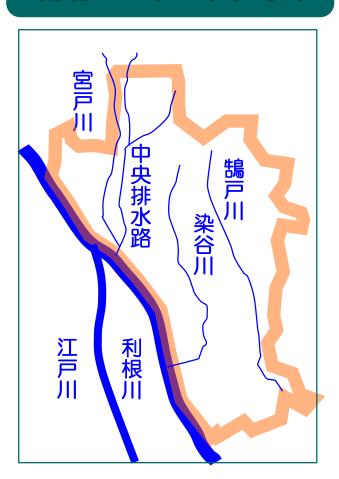
- ① 境町の地勢:防災上(水害)の特性
- ② 町外の緊急避難場所
- ③ 広域避難時の目標とする避難線
- ④ 広域避難における主要幹線道路と避難方向

① 境町の地勢:防災上(水害)の特性

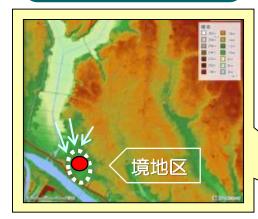
- 1 **境地区を中心に水が集中**する
- 2 避難方向は東~北東方向
- 3 中小河川が避難方向をさえぎるように存在

特に境地区が孤立 する可能性が大

南北に4本の中小河川



役場周辺の特性



標高10~12m程度

周辺から流れ込んだ雨水が役場庁舎の近傍周辺に集中

全体的に東高西低の地形



《参考》広域避難における避難の焦点

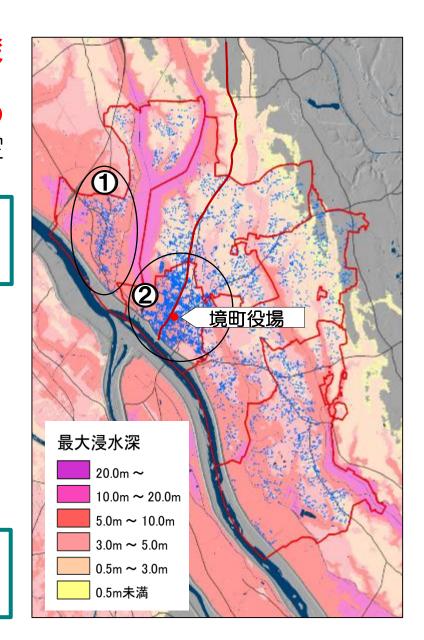
- 【① 静地区】
- 1 利根川・渡良瀬川氾濫時は**最初に被災** する可能性が高い
- 2 **長井戸沼(中央排水路)で東方向への 避難が困難**となり避難は概ね北方向限定

浸水深が深く、特に**塚崎はリスクが高** いため速やかな避難が必要

【② 境地区】

- 1 境町人口の**約38%が集中し浸水深が** 深い
- 2 役場を中心に道路網が発達している が**避難方向が集中**しやすく渋滞し易い

都市下水路など**内水氾濫の可能性が高い** ため速やかな避難が必要



《参考》27関東・東北豪雨災害時の内水氾濫状況

約500棟の住宅被害の内、

全体の約61%(約300棟)が境地区で発生

建物被害 中心地/町全体 床上浸水

床下浸水

160棟/全246棟 (大規模半壊90)

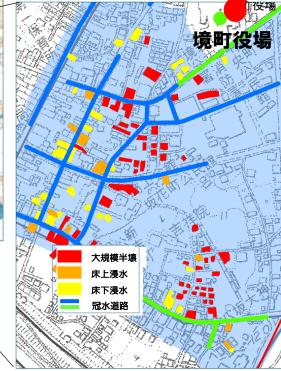
139棟/全247棟



町内34箇所で道路が冠水「中心地は孤立化」

地

利根川氾濫時は逃げ遅れ



② 町外の緊急避難場所

町外の緊急避難場所は坂東・八千代にあるため、広域避難には

古河方向よりも避難先を確保できる。



○ : 指定広域避難所 □□ : 公共駐車場

指定緊急避難場所 💯 : 民間駐車場

八千代高校隣接



安達運輸駐車場



車 : 約250台 ・イレ: 校内



逆井城址公園

車 : 約300台 トイレ: 2箇所



農村いこいの広場

車 :約 90台トイレ:1箇所

234 常繁寺駐車場 《①前山公園

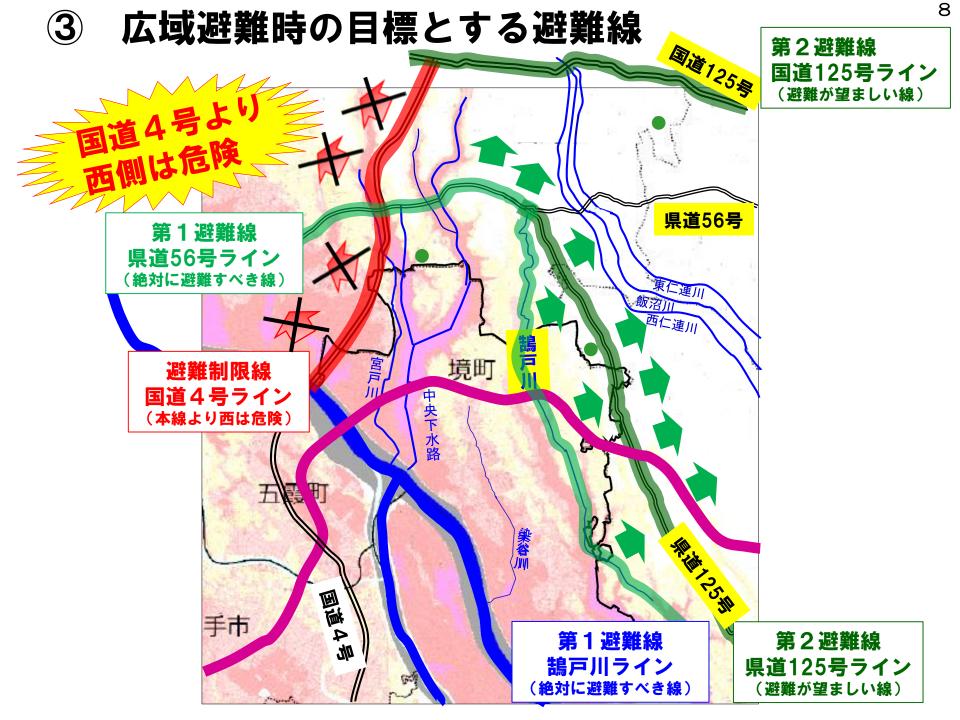
1 3 2 mill 公園 2 2 mill 公園 2 mill 公司 2 mill 公園 2 mill 公司 2 mill 公園 2 mill 公園

・トイレ:1箇所 《 ②③④ 常繁寺 》

・車:約 115台

| 車 : 約160台 | トイレ: 1箇所

1 前山公園



2 広域避難時の避難先の指定

- ① 避難先指定の考え方
- ② 行政区ごとの避難先の指定(案)

① 避難先指定の考え方

▶ 努めて同一の広域避難所に避難者が集中しない ように避難先を指定

- ▶ 中小河川、地形・避難特性(避難先指定の前提事項、各行政区の避難要領)を踏まえ決定
 - → 概ね県道17号線を基準に避難方向を区分 西側を北方向、東側を東〜北東方向で区分

- ▶ 努めて避難時の渋滞を避けるため、
 - ① 利根川沿川の行政区を古河、坂東方面
 - ② その他の外縁の行政区を八千代方面

② 行政区ごとの避難先の指定(案)

避難先分散の検証も兼ねています。ご理解の上、ご協力をお願いします!

